

「山形県病院事業中期経営計画改正（案）」及び「山形県立河北病院経営健全化計画改正（案）」に対する意見募集の結果について

1 意見の募集期間

令和6年2月26日(月)～令和6年3月15日(金)

2 提出された意見の件数

9件（意見提出者 2名）

3 提出された意見の概要及び意見に対する県の考え方

(1) 山形県病院事業中期経営計画（案）

番号	御意見の概要	県の考え方
1	各県立病院の概要（病院名、開設年月日、所在地、敷地面積等）を資料として添付してほしい。	御意見を踏まえ、巻末に資料（県立病院概況）を添付します。
2	中央病院について、同じ山形市に大規模病院があり、急性期病床が過剰であることを踏まえ、病床利用の検討や他の大規模病院にない特徴のある診療科が必要となるのではないか。	中央病院は、地域の医療ニーズの変化等を踏まえ、令和5年10月1日から病棟ごとの診療科の構成を見直すなど、病棟再編を行いました。 また、新生児内科など中央病院にしかない診療科を標榜し、高度かつ専門的な医療を提供しております。 計画改正（案）Ⅲ－＜中央病院＞－1の「(4) 令和7（2025）年及び令和9（2027）年における具体的な将来像」に記載しましたとおり、人口減少の加速化及び医療技術の進歩や診療の効率化による在院日数の短縮の流れに沿い、急性期医療のニーズに見合った病床規模の適正化も検討しながら、経営の健全化及び全国トップクラスの質の高い高度急性期医療、高度専門医療、患者サービス等の提供を図ります。
3	河北病院と中央病院は同じ村山医療圏にあり、自動車です約30分程度の距離にある。両病院の更なる連携強化を検討していただきたい。	中央病院と河北病院の連携について、今年度は、中央病院から河北病院への眼科医派遣による外来診療の実施や河北病院から中央病院への麻酔科医派遣による手術支援等の実施などにより、相互連携を図っております。 計画改正（案）Ⅱ－1－(2)の「エ 県立病院間の診療応援体制の拡充」に記載しましたとおり、医療ニーズの多様化や専門医の不足等に対応するため、県

番号	御意見の概要	県の考え方
3 (続き)		立病院間の医師応援体制の拡充及び機能分担を推進してまいります。
4	河北病院も中央病院も老朽化しているため、統合して移転新築することは検討しないのか。	河北病院は、寒河江市立病院と統合し、新病院を整備するための具体的な検討に着手することとされており、計画改正(案)Ⅰ-1-3の「(9) 地域の医療機関との連携強化及び再編・ネットワーク化」を一部修正しました。 中央病院は、計画改正(案)Ⅲ-＜中央病院＞-2-(2)-オの「(ア) 施設及び機器の効率的な運用」に記載しましたとおり、定期的な点検及び修繕の実施等により施設設備の長寿命化を図ります。
5	診療科や入院病棟体制に違いがあり、統計数値での比較は簡単ではないと思料されるが、他の同規模公立病院との比較はできないのか。	御意見のとおり、同じ病床数でも役割や機能が異なるため、統計数値での病院の比較は簡単ではありませんが、県立病院では、公益財団法人 日本医療機能評価機構の「患者満足度・職員やりがい度 活用支援プログラム」への参加や DPC 分析ソフトの活用等により、類似病院との比較を行って、改善に取り組んでおります。 御意見を踏まえ、計画改正(案)Ⅱ-1-(1)の「ウ 接遇並びに患者及び職員の満足度の向上」及びⅡ-2-(3)の「ウ DPC の対応強化」を一部修正しました。

(2) 山形県立河北病院経営健全化計画改正(案)

番号	御意見の概要	県の考え方
6	西村山地域の市町立の医療機関との統合を見据え、病院間の連携強化に向け取り組んでいただきたい。	河北病院は、西川町立病院の遠隔画像読影の実施など近隣の市町立の医療機関との連携にも取り組んでおりますが、御意見を踏まえ、具体例を盛り込み、計画改正(案)の4-(8)「② 医療機関、介護施設、福祉施設及び在宅医療との連携」を一部修正しました。
7	開業医から河北病院に紹介患者を増やすような協力体制は構築されているのか。	河北病院は、これまでも地域の医師会等との医療連携懇談会の開催や協力医療機関への訪問等により、地域の医療機関との連携強化を図ってまいりました。令和6年度は、新たに地域医療連携ステーションを整備

番号	御意見の概要	県の考え方
7 (続き)		<p>し、合同症例検討会の実施等により、情報共有と信頼関係の更なる深化を図ります。</p> <p>御意見を踏まえ、具体例を盛り込み、計画改正(案)4-(8)の「② 医療機関、介護施設、福祉施設及び在宅医療との連携」を一部修正しました。</p>
8	<p>地域医療構想及び地域包括ケアシステムの構築を踏まえた経営健全化の取組みに、訪問診療は考慮されているのか。</p>	<p>計画改正(案)4-(1)の「② 地域医療構想及び地域包括ケアシステムの構築を踏まえた経営健全化の取組み」等に記載しましたが、河北病院では、今年度から、通院が困難な患者のニーズに応えるため、総合診療医による訪問診療を開始しました。</p> <p>引き続き、患者のニーズを踏まえながら、訪問診療も含めた在宅医療の提供に取り組みます。</p>
9	<p>河北病院の平成28年度病床利用率がほぼ目標を達成していても最大の赤字を計上していることについて、要因を分析しているのか。</p>	<p>河北病院の平成28年度病床利用率は、目標76.6%に対し、実績は75.4%でしたが、経常収支比率は、目標78.5%に対し、実績は79.5%となりました。</p> <p>経常収支比率の目標は達成したものの、赤字の主たる要因としては、医業収益に対する職員給与比率が90.5%と、同規模類似病院よりも非常に高くなっており、費用構造が硬直化していることによると捉えております。</p> <p>そこで、計画改正(案)3-(2)の「③ 病床数の推移」にも記載しましたが、病床数の適正化や給食業務の民間への委託により、職員体制の見直しを図っております。</p>

4 問い合わせ先

山形県病院事業局県立病院課運営企画担当
電話 023-630-2413